

学校・家庭・地域ではぐくむ 中央っ子の学力

～2025年度 全国学力・学習状況調査から見てきたこと～

一人ひとりの子どもの「確かな学力」をはぐくむために、調査結果から明らかになった課題を学校・保護者（家庭）・地域が共有し、それぞれの立場でできることに取り組むために、本資料を作成しました。

全国学力・学習状況調査とは・・・

1 調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 実施日・調査対象

令和7年4月17日（木）、全国の小学校6年生、中学校3年生を対象に実施。

3 調査の内容

- ①国語 ②算数 ③理科
④児童質問紙（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面などに関する内容）

4 全国学力・学習状況調査から見てきたこと

1. 中央っ子の「教科」の力



教科	身につけている力	さらに身につけたい力
国語	◎言葉の意味や文法的な事項など、学習の土台となる知識が定着しています。	➤ 友達の意見と自分の考えを比べ、考えを深める力。 ➤ 自分の意見の理由や根拠を筋道立てて説明する力。 ➤ 読み手に伝わるように文章を組み立てる力。 ➤ 文章全体を読み、構成の工夫や作者の意図を理解し、それを自分の記述に活かす力。
算数	◎ 四則計算などの技能や、速さや割合など基本的な数量の関係は理解できています。	➤ 複雑な問題で「必要な情報」を見抜く力。 ➤ 問題文全体から、答えを出すために本当に使うべき情報を適切に判断する力。 ➤ 解決方法を論理的に説明し、見通しを立てる力。 ➤ 答えを出すまでの過程を、図や式、言葉を使って順序立てて説明する力。
理科	◎ 身の回りにある現象や物質の性質など、基礎的な知識は理解できています。	➤ 実験で「変えてはいけないこと」（制御条件）を理解し、結果を正しく比べるための工夫をする力。 ➤ 冷たい飲み物のコップにつく水滴（結露）など、身の回りの現象を科学的な知識（水の三態変化など）と関連付けて説明する力。

2. 中央っ子の学習と生活の姿

全国よりも高かった項目

- ◎ 自分には良いところがある
- ◎ 先生は良いところを認めてくれている
- ◎ 将来の夢や目標を持っている

さらに高めたい力

- 家庭での時間の使い方を考えて、計画的に生活・学習する力
- 周りの人のために何かをしようとする力
- 話し合いで考えを広げたり深めたりする力



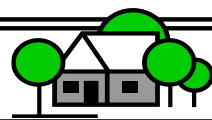
「教科に関する調査」結果と「生活習慣や学習環境等に関する調査」結果より、**生活習慣・学習環境と学力は関連があることがわかってきています。**

5 中央っ子の学力を育てるために・・・



学校で力を入れる6つの取組

1. 道徳教育実践研究事業の指定研究を受け、自己理解や他者理解をととして、自己の生き方について考えを深める力を育成します。
2. 友達と考えを伝え合い、そこから自分の考えを深める対話の機会を多く設けます。
3. 自分の力で文章や問題の意味を読み解けるように、目的を達成するために必要な読み方を意識して文章を読む機会を増やします。
4. 根拠や理由を明確にしながら自分の考えを記述したり、条件（大切な言葉をつかう、字数制限に合わせるなど）を踏まえて書いたりする機会を増やします。
5. 図書館を積極的に利用し、読書に親しむ環境づくりを行います。



家庭で力を入れてほしい6つの取組



1. 「早寝、早起き、朝ごはん」の生活習慣を身につけさせましょう。
2. 場所や時間を決めて、集中して学習に取り組む習慣を身につけさせましょう。
3. 家で計画を立て、自分の苦手やつまずきにチャレンジできるよう、お子さんの頑張りをたくさん褒め、声かけをしましょう。
4. 1学期に各家庭で決めていただいたテレビ・ゲームの時間、スマホ利用などの「メディアルール」を、子どもの自律力を育むためにより一層推進しましょう。
5. 家族で一緒に本を読み、読書習慣を身につけさせましょう。
6. 「なぜ？」を大切にしたい対話を→日常の会話の中で、「なぜそう思ったの？」「その理由は何？」と問いかけ、子どもが根拠を言葉で表現する機会を増やしていきましょう。

※ 丹波市教育委員会のホームページには、「家庭学習のチカラ」「わが家のひと工夫」も掲載されていますので、ご家庭でのお子さんへのかかわりの参考にご活用下さい。

小学校の間の生活習慣・学習習慣は、将来的に自分らしくより良く生きる力に大きく影響します。自律し、しっかりとした思考力・判断力を持つ子どもに育つために、学校・家庭・地域が協力していきましょう。